

かまにし

第64号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

ご存知ですか？

マラソンランナー 中野 陽子さん



『かまにし17第29号』（平成二十年九月）で紹介された中野陽子さんは今年の東京マラソンでも活躍されました。

八十一歳になられても四時間十分四十五秒で完走！これは年代別世界記録を更新した、マスターズ（八十〜八十四歳部門）世界記録です。

普段は特別養護施設でベッドメイキングのお仕事をされていますが、マラソン大会に参加する遠征費用を捻出するためだそうです。東京マラソンでも、5キロずつの目標時間を設定して走りながら時間を記録されています。前回は、初めて脱水症状を経験されたそうで、しっかり补水しているつもりでも汗として出ていくほうが多か

ったようで、最後にはふらふらになって、今思えばとても危険な状態だったとのこと。

現在、多摩川陸上競技クラブに所属されていますが、七十代日本人女性史上初の百キロマラソン完走者であり、マスターズ陸上競技大会七十五〜七十九歳の部、三千と五千メートル及びフルマラソンの世界記録保持者です。

マラソンを始めたのは七十歳の時、初挑戦のホノルルフルマラソンで四時間四十四分四十四秒で完走してその魅力にはまったそうです。「無理せず努力する」がモットー。マラソンを通じて友達が増え、年齢を重ねるのが生きがいと思えることが幸せとのこと。

身長が百五十二センチ、体重が四十キロの身体のどこにそのパワーがあるのか驚きです。若いころはスキーに夢中になって、準指導員資格をとったそうですが、なかなか上手になれなくて、資格の四回目のテストでやっと取得できたそうです。筆者の子どもも小学生のころに、中野さんにスキ

わがまちの顔

思いを漫画と花に寄せて

『特攻花』

とっこうばな

いそよね
磯米さん



平成二十九年三月、奄美大島一帯が三十四番目の国立公園、奄美大島群島国立公園として誕生しました。群島の中の喜界島・黒島を舞台に、特攻兵たちと住民との交流を描いた、漫画で読む『特攻花物語』を出版した方が、東矢口にお住まいの磯米（一九五七〜）さんです。

本の中に出てくる特攻花とは、出撃する特攻兵を見送った少女たちが、贈った野の花（天人菊）のことです。花も一緒に散るのは忍びないと隊員たちが、そっと滑走路に置いて飛び立って行ったと言

いを習ったことを覚えているようです。

月間の走行距離は故障を防ぐために二百キロに抑えているそうですが、ついつい走りすぎてしまいます。走った後は、お風呂に入って撫でる程度の足のマッサージをするくらいで、特別なことはしていません。

筆者の子どもと相生小・御園中の同級生の叔母さんにあたりますが、明るく気さくな方です。今後も中野さんの更なる活躍にエールを送りたいと思いますし、熟年の方々にやれば出来ることを身をもって実践していただきたいと思えます。

（取材 飯嶋委員）

新特別出張所長

就任あいさつ

本年4月1日付けで蒲田西特別出張所長に就任いたしました荒浪明子と申します。

今回、蒲田西特別出張所に勤務し、たくさんの地域の方々と出会うことを大変うれしく思います。この「かまにし17」は、地域にゆかりのある人物の偉業の紹介や身近な場所の歴史を紐解くなど、編集委員の方々の才により、地域

情報紙の域を超えて地域の魅力や歴史を伝承する素晴らしい内容となっております。

本紙とともに、私も蒲田西地区のさらなる発展と魅力向上のために職員とともに力を尽くしてまいりますので、よろしくお願いたします。

蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,254人
	女	29,767人
	計	62,021人
世帯	35,095世帯	

平成29年5月1日現在

「かまにし17」をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。

事務局 蒲田西特別出張所
大田区西蒲田七二二七
電話 37324785

イドヘルパーの仕事や、趣味である和太鼓のけいこに励んでいます。そのあと主婦、そして漫画家と続きます。その合間をぬって、ご主人の協力のもと、作品に集中して仕上げるのが出来ました。手はじめにアポイントもなく黒島へ取材に行き、その後何回か訪問していくうちにいろいろな方と仲よくなっていくのが楽しみでした。

『特攻花』の本を地元の小中学校に寄贈したら、子供たちから沢山の感想文が送られてきました。今では、私の「宝物です」と目を細めておられます。

皆さんに、改めて読んで頂いて「今の平和を感じて欲しい」と願い、そして戦争を知らない世代に、どのように引き継いでいくか懸念しておられました。



学芸みらい社

（取材 佐藤・高橋・近藤委員）

みんなが大好きだった多摩川園

かつて蒲田西地区住人がよく遊びに行った遊園地、それが多摩川園です。多摩川園はかつて大田区田園調布にあった遊園地で、現在の東急多摩川駅の駅前に正面入口があり面積は約五ヘクタール、大正十四年（一九二五）十二月「温泉遊園地多摩川園」としてオープン。

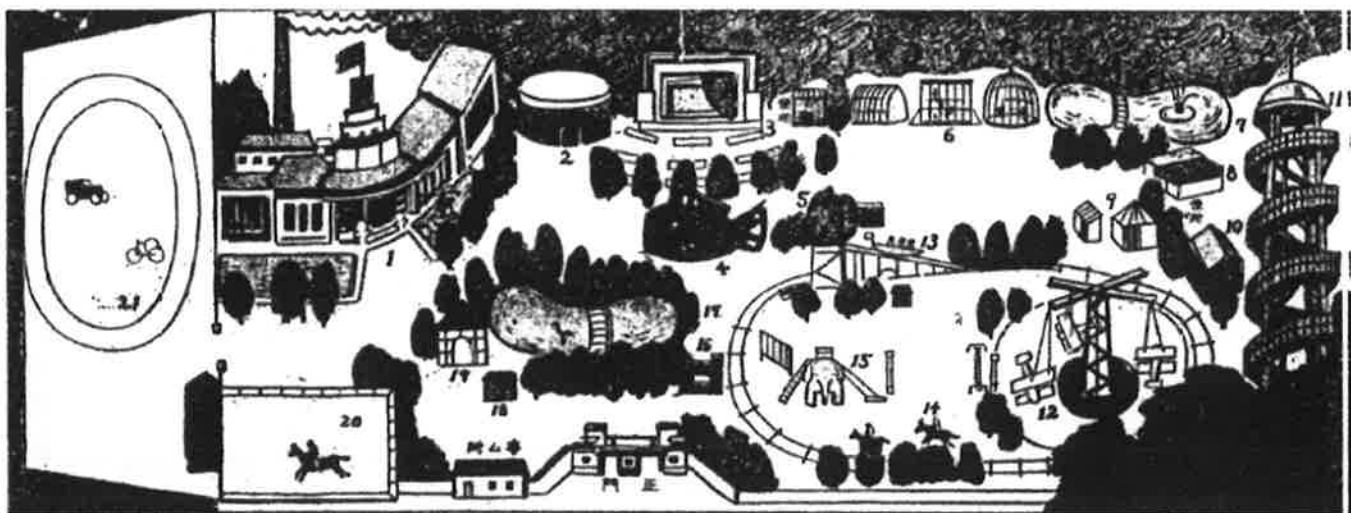
園内には飛行塔、お化け屋敷、メリーゴーラウンド等の遊戯施設

設があり、菊人形展も多くの客で賑わいました。たまたま「大田区史（資料編）」を読んでいて、かなり初期のものと思われる「温泉遊園地 多摩川園」案内の表紙写真（左）と案内図写真（下）を見つけたので、ご紹介します。

当時行かれた皆様に懐かしんでいただければと思います。



多摩川園案内の表紙と案内図



ここに書いてある説明が、この縮尺では読めないのが、拡大して転載します。（字数が多く一部を省略。多摩川園書館資料コーナーで全文を読むことができます）

多摩川園は来るべき新東京にふさわしい郊外遊園地として唯一のものでございます。四季を通して常に珍趣向を凝らし皆様をお待ちしております。

当園は更に新設備やら面白い催し物やらを加えて、ますます充実した理想郷たらしめんと努力を続けております。

- ① 夢のお城
（イタリア大理石造大浴場、蒸し風呂、化粧室、理髪店、休憩室、食堂、ピンポン、ビリヤード、すべり台等）
- ② お話館（パノラマ式）
- ③ 音楽堂
（喜劇、茶番、手品等）
- ④ 魚のトンネル
（珍魚たくさん）

- ⑤ 小森林に囲まれたお城
- ⑥ 動物のお部屋（猿、ペリカン）
- ⑦ 魚すくいもできる池
- ⑧ 藤棚の陰に喫茶店
- ⑨ オウムと釣り堀
- ⑩ 入園記念や一時間写真の写真館
- ⑪ 海拔二百五十五尺絶景の鐘の塔
- ⑫ 空中旅行シープレーン
（安全飛行機）
- ⑬ 痛快無比陸上波乗り
- ⑭ 子供さん方のお友達ロバ堂
- ⑮ 運動場
（象のすべり台、運動木馬等）
- ⑯ 売店
- ⑰ 鶴のお池
- ⑱ 鳥の王様クジャクのお家
- ⑲ 香り高い草花の店
- ⑳ 大将の馬場

いかがですか？ 大正十四年末にオープンした頃の内容かどうかははっきりしませんが、かなり初期のものようです。特に、①温泉大浴場がメインだったことや③音楽堂で一時少女歌劇が行われたことなど、宝塚を意識した施設だったように思われます。

その後、長い間、人気を保った

多摩川園は昭和三十九年の東京オリンピックの年には、年間入場者百万人を記録し、この頃は観覧車、丘陵地に登るリフト、軟球を使ったバズーカ砲、ウイスキー樽を模したジェットコースター等の遊戯施設がありました。南東の池でボートも漕げましたが駐車場にするために埋め立てられることとなります。大規模室内催事場「読売館」が設置され、夏季の納涼スリラーショー（お化け屋敷）、秋季の菊人形展が人気でした。

しかし、そのうちに遊園地に面する集合住宅の増加や景観の悪化レジャーの多様化などから入場者も減少して、周辺道路の渋滞などもあり、昭和五十四年に閉園しています。

閉園日の前日と当日のイベント「さよなら多摩川園」には多くのお客様が訪れ、名残を惜しんだという事です。

（取材 大良委員）

多摩川園の案内図（昭和39年頃）

